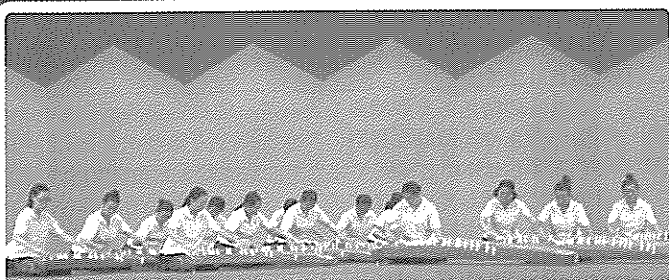




如意ヶ丘

〈発行〉平成25年12月20日



琴部 第36回全国高等学校総合文化祭

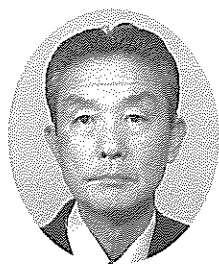


韓国友好校歓迎式



吹奏楽部 第38回定期演奏会

ごあいさつ



会長
牧 亨

初冬の候、会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。ご健勝の事と拝察申し上げます。夏は連日の猛暑日続き、秋には台風・竜巻・豪雨・土石流などの自然災害が多数発生するなど、記録的な天候不順を痛感させられた一年でした。この会報が皆様に届く頃は、北陸も本格的な冬を迎えていることでしょう。

昨年12月に安倍政権が発足し、アベノミクスなる強い経済政策が打ち出され、景気浮揚の期待が高まっているところですが、我々国民にはまだまだ実感するに至っておらず、これから1～2年が正念場と考えられます。また、2020年には東京オリンピックの開催が決定し、これも追い風になるものと期待されるところです。

平成27年春、待望の北陸新幹線開通まであと500日に迫

り、歴史・観光都市を目指す高岡市にとって、県外からの誘客の絶好のチャンスと捉え、高岡市をはじめ、商工会議所ならびに諸団体が一丸となり、市民参加の研修会・講演会等が数多く開催されております。

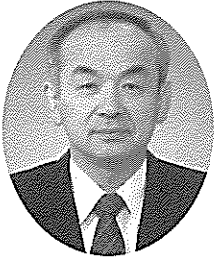
高岡越中万葉の中心に立地している伏木高校は、過去万葉に関わる活動をしておりますが、今年は万葉集朗唱の会に参加し、また生徒自身で手作りした万葉の衣装を着てホームステイ先で舞を披露するなど、いろいろな工夫を凝らし活躍をしてくれました。

我が校の生徒たちも、国際交流科校として一般課程の授業に加え、第二外国語の習得に精進しているほか、ここ2～3年目覚ましい成績を残している部活動においても頑張っていることは周知の通りです。

同窓会の皆様には、頑張っている生徒たち、学校に対し温かく見守っていただくと共に、物心両面に亘ってご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

時節柄、会員の皆様には御身專一をご祈念申し上げます。

「人づくり」の先進的な取り組みに挑む



校長
宮崎 豊

長年にわたって国際理解教育を推進してきた伏木高校に、平成17年4月に県内初めての国際交流科が設置されてから来年で10年目を迎えます。コミュニケーション能力や国際的な視野を養うために、生徒は必ず第2外国語として中国語、韓国語、ロシア語のいずれかを選択するとともに、2年次には、中国、韓国、ロシアの友好校を訪問し、ホームステイを中心とした海外体験を通して国際感覚や行動力を培います。これからの国際社会で活躍することができる人材の育成を目指す全国的にもユニークな取り組みをしています。

本校は中長期ビジョンの一つとして、「国際理解教育(国際交流)とコミュニケーション能力の向上」をあげています。特に、日本人(伏木高校生)としてのアイデンティティを持ちながら、異文化理解とコミュニケーション能力、協調性、創造性や社会貢献の意識を高めることが大切であると考えています。

このような特色ある伏木高校が、今年度、県教委へ提出した実施計画書とプレゼンテーションの審査を経て、富山、富山中、高岡高校などの大規模校10校とともに「とよまの県立学校人づくり推進事業」の課題推進校の指定を受けました。伏木高校は、グローバル教育を重点課題として、助成金約100万円を2年間受けて他の高校に発信できる先進的な取り組みをしています。

今回の課題推進校としての主な取り組みとしては、

- ①英語・第2外国語学習の推進 日常会話でよく使用する英語フレーズや第2外国語に触れる機会の増加を目指して、本校が実施してきたSET (Short English Time) のテキスト本とCDの制作や、県内在住の留学生や外国籍の住人との交流会の開催、海外の大学や友好校などのテレビ会議システム(スカイプ)を使った交流
- ②越中万葉を通じた郷土理解と越中万葉の全国・世界への発信 越中万葉や伏木地域を中国・韓国・ロシア語に翻訳したパンフレットの製作や、富山大学芸術文化学部の先生の指導を受けて越中万葉壁画等の製作
- ③海外からの留学生や外国籍の住人との交流会の開催 地域の住民や中学生と一緒に参加する国際交流会やボランティア活動、関係機関等が実施している国際交流事業への積極的参加 などがあります。

これらの特色ある取り組みを通して、生徒のコミュニケーション能力の向上や国際的な視野の育成、越中万葉とふるさとへの理解など深めさせたいと考えています。全国のモデルとなれるように、意欲的に挑戦していきますので、引き続き同窓会の皆様のご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

伏木高校の取組みがこれまで地方紙などにたびたび掲載され、同窓生や地域の方々に喜んでいただいております。これからも特色ある取組みが掲載されるよう頑張っておりますのでご期待ください。なお、本校生徒の活動は、ホームページに掲載しており、4月から60回以上も更新するなどたいへん充実しておりますので、こちらの方も是非ご覧ください。

総会報告

伏木高校如意ヶ丘同窓会

平成25年度、如意ヶ丘同窓会定期総会は、7月13日(土)、16時より伏木福祉会館で開催されました。中島副会長の進行のもと、同窓会物故者に対して黙祷が捧げられたあと、牧同窓会長、宮崎校長の挨拶がありました。議事は、議長を兼任した牧会長によって進められ、平成24年度の事業報告、会計報告、監査報告をはじめ、平成25年度の同窓会役員案、事業計画案、会計予算案等、全ての議案が満場一致で承認されました。

その後、懇親会は、小泉副会長の進行のもと終始和やかな雰囲気で行われました。在校生によるアメリカ・韓国語学研修の報告、ビンゴゲームなどで会場は盛り上がりました。又、ビンゴゲームでは景品もあり、景品を取った皆さんはより一層楽しく参加して頂いたと思います。最後には、声高らかに伏木高校校歌を歌い閉会しました。



平成二十五年 如意ヶ丘同窓会顧問・役員

役職	氏名	卒業回数
顧問	山崎 下原	14回
顧問	山崎 吉濱	16回
顧問	北原 高	3回
顧問	北原 高	9回
顧問	伏見 高	13回
顧問	伏見 高	20回
顧問	伏見 高	38回
顧問	伏見 高	6回
顧問	伏見 高	12回
副会長	伏見 高	16回
副会長	伏見 高	10回
副会長	伏見 高	17回
副会長	伏見 高	18回
副会長	伏見 高	22回
副会長	伏見 高	26回
副会長	伏見 高	26回
副会長	伏見 高	27回
副会長	伏見 高	30回
副会長	伏見 高	34回
副会長	伏見 高	37回
副会長	伏見 高	40回
副会長	伏見 高	43回
副会長	伏見 高	10回
副会長	伏見 高	15回

関西支部 便り

事務局長 山岡 巖 (伏高16回卒)

平成24年度総会を9月23日(土)11時より、大阪なんばの「道頓堀ホテル」に於いて、同窓会本部より牧会長・山下監査役、母校より山端教頭を来賓としてお迎えし、総勢32名の参加で第17回如意ヶ丘同窓会関西支部総会が開催された。

冒頭、全員起立し校友の物故者へ追悼の黙祷が行われた。杉林支部長の開会の挨拶があり、続いて、牧会長からは「アジア最大級のクルーズ客船が伏木港に初入港し、伏木の町が活気づいた事、県立高校後期の再編統合の枠組み検討に入り、我が校の存続をかけて取り組んでいる事」等、山端教頭からは「高岡古城公園での万葉朗唱の会の時はもちろん、友好校との交流時にも生徒達が製作した万葉衣装を着用するなどして、学校あげて越中万葉の学習に力を入れている事、とよまの県立学校人づくり推進事業の課題推進校に指

定された事、生徒達皆が地域のボランティア活動に積極的に取り組んでいる事」等々のお話を頂き、議事に入った。

杉林支部長を議長に選出し、平成24年度の事業報告・収支報告が山岡事務局長から説明が、川田副支部長(兼)会計監査から監査報告が有り、引き続き平成25年度の事業計画案・収支予算案が上程され、それぞれ全会一致で可決承認され、平成25年度の如意ヶ丘同窓会関西支部の活動がスタートした。

牧会長より、関西支部への活動助成金が杉林支部長に授与され、一同拍手で謝意を表した。記念撮影の後、母校への誇りを忘れず、会員の拡大・会の発展に尽くす事を決意し総会は終了した。

懇親会は、山下監査役の挨拶・乾杯の発声で開宴となっ

た。初参加の野田明さん(高14普・千葉在住)から「傲」如意ヶ丘にを披露していただいた。これはなかなかの魅力ある応援歌であった。これは関西支部で引き継いでも良いのではないかと。余興は本山紀美子さん(高16普)の大正琴の演奏、竹本照子さん(高14商)のすばらしいマジックショー等があり、各自昔話を花を咲かせ、会長・監査役・教頭は各テーブルをまわり支部会員と親しく語られ、和やかに懇談の輪が各所で広がり盛り上がった。

やがて人気の「とやま名産争奪ジャンケン大会」に移り、各自が故郷の産品を手にして自宅に戻り、家族と共に故郷の思いで話にふけり楽しく味わった事でしょう。プロ歌手(よねだおさむ)の歌を聴き、2時間半にも及んだ懇親会も余韻を残しつつ、やがて終幕を迎えた。

BGMから流れる伏木商業学校・伏木高等学校の校歌に合わせ、全員で声高らかに校歌を斉唱。山端教頭の万歳三唱、川田副支部長の閉会の挨拶、秋元特別幹事の力強い恒例の

「一本締め」で、懇親会は盛会の内に幕を閉じた。

お互いの健康、変わることのない友情に感謝し、再開を約した。



関東支部 便り

副会長 深原 明 (北高7回卒)

第17回関東如意ヶ丘同窓会総会

新緑が映える、都心市ヶ谷の「アルカディア市ヶ谷」で、第17回関東如意ヶ丘同窓会総会が総勢39名出席のもとで開催された。

母校より、宮崎豊校長・同窓会本部より牧亭会長に代わり緊急に山下利一監査を迎え、総会は定刻、榎副会長の司会進行のもと行われた。冒頭、酒井会長の挨拶に先立ち、会員物故者への黙祷を捧げた。挨拶ではご多用の中、総会に出席戴いた来賓の方々を心込めての紹介があった。続いて20有余年の長期デフレ不況に対する安倍新政権への期待と、自身の新事業推進の経過と将来に対する意欲を説明披露された。



議事に入り、はじめに山岸事務局長より24年度事業報告及び25年度事業計画の説明があり、北山会計長からの会計報告、岸監査からの監査報告があり、満場一致で承認され、議事は全て無事終了した。

来賓挨拶では、稲場伸也東京富山県人会連合会副会長・同会の山田郁子婦人会会長の祝辞を戴く。続いて山下利一監査の会長に代わっての挨拶で同窓会の近況を兼ねての祝辞があり、締めの挨拶を宮崎校長から戴いた。母校に赴任されて3年目、この総会には3・11の震災等の関係で今回が初出席、78ページに亘る新聞切抜き記事等で母校の活動状況を詳細に説明され、母校の国際交流科の特色ある教育活動が文化活動・スポーツ活動の分野に礎を置き、勢力的に専心努められている内容に共鳴を感じ、さらなる発展を期待した次第。

二部懇親会は山岸事務局長の司会で進行され乾杯に先立ち、吉田常任幹事の朗詠「中庸」・深原副会長の尺八演奏による「越天楽」を列席者一同で唱和の後、東京富山県人会連合会常務理事・事務局長東豊昭氏の声高らかな発声で乾杯、歓談に入る。歓談が進む中、恒例の余興になり、浜副会長「テイチク専属歌手」の郷土の歌謡で盛会に山中節、帆柱起こし、越中おわら節等々輪踊りも広がり盛会裡を迎え、母校の発展を祈念、林副会長が関東如意ヶ丘同窓会創立の経緯を併せて万歳三唱、お返しに宮崎校長より関東如意ヶ丘同窓会の発展と参列者各位の健勝を祈念し、万歳三唱のエール交換後、鶴谷副会長の閉会挨拶で散会となった。

同窓会報告

「第47回 卒業生同窓会」

竹本 幸弘 (伏高47回卒)

第47回普通科卒業生の同窓会を今夏、開催しました。私たち、第47回卒業生は、年に2度定期的同窓会を開いています。場所は、皆が、気軽に足を運べるように高岡市内の居酒屋さんで同窓会を開く事としています。今回は、当時の担任であった四日先生を交えての同窓会となり、いつもより盛り上がったように思います。

皆、それぞれの家庭を持ち家族の話、自身の近況報告などで話が持ちきりとなりました。家族と過ごすことの喜びや苦しみを語り合い、明日への活力となるような時間を過

ごせました。伏木高校での生活は現在の自分の礎となっています。当時自身が持っていた、ひたむきさ、率直さ、幼さ、全て懐かしく思い出されます。また、それらの事について熱く語り合うことの出来る友人がいる事をここに感謝したいと思います。

私にとっては、生涯の友人を作る事の出来たかけがえのない場所として伏木高校は我が母校と言えるのです。

最後になりますが、我が母校のますますのご健勝をお祈り申し上げます。



「第17回 普通科卒業生同窓会」

中島 貞之 (伏高17回卒)

第17回普通科卒業生の同級会が、28名の出席で10月20日～21日開かれました。

今回は亡き12名の同級生と、9月13日にご逝去された伊藤保太郎先生の追悼会を「勝興寺」で行い、改めて、ご冥福をお祈りしました。

会場を「氷見っ子」に移して懇親会に入り、幹事代表の吉田健三君の開会の挨拶に続いて、江守武治君の乾杯の発声で始まり、久しぶりの懐かしい仲間と青春の日々の思い出や、高校3年生の時の東京オリンピックの話題やら、亡き先生、同級生を偲んで語り合い、又様々な活動をされている近況報告もあり、全員で校歌を斉唱して、夜遅く迄盛り上がりました。

次の同級会は2年後に関東在住の方々のお世話で「鎌倉」での再開を約束して別れました。

尚、如意ヶ丘国際教育基金に1万円寄付しました。



「節目の古稀を期に」

山下 利一 (伏高15回卒)

我、母校を卒業し、古稀を迎える年代となり、時の過ぎることの重さと早さを感じている今日この頃です。

平成25年11月7日(木)～8(金)に「ひみのはな」に於いて、昭和38年3月(伏15回)卒の古稀の会が開催されました。

今回は、節目の(最終)として案内されたこともあり、久方ぶりに50名と多数の参加のもと盛大に行われました。

私は、50年ぶりに逢った人、学生当時の思い出の中にいた人達と、お世話もせず楽しい一刻を過ごし羽を伸ばすことが出来ました。

宴会では、学生時代の話、卒業後の行方の話等、現在のことで、孫の話、健康管理の話等、お酒の勢いも加わり時の経つのも忘れ、皆さんは楽しく歓談、美酒を飲まれており意義のあった開催だったと思っています。

二次会は幹事さんの厳しい計らいにより、全員参加となりカラオケのメロディーも絶える間がありませんでした。

最後に、矢地代表幹事を中心に協力された幹事の皆さんには心より感謝致します。本当に有難うございました。

今後の同期の皆様のご健康とご多幸を祈念しつつ…

合 掌



ゴルフ大会報告

第28回 如意ヶ丘グリーン会 参加者38名

開催日 平成25年4月13日(土)
開催場所 氷見カントリークラブ

優勝	矢坂 誠 (伏高15回)
2位	海老 邦明 (北高23回)
3位	館 良成 (北高32回)
4位	川谷 昭夫 (伏高7回)
5位	田中 清 (北高9回)
6位	飯沢 隆夫 (北高12回)
7位	関口 稔宏 (伏高25回)
8位	山崎 泰邦 (伏高23回)
9位	増井 修 (伏高22回)
10位	桜井 賢政 (北高2回)
11位	山田 雄 (旧職員)
12位	高瀬 秀夫 (北高13回)
13位	鶴井 孝行 (伏高19回)
14位	高橋 明夫 (北高8回)
15位	桶谷 実行 (北高20回)
B G	田中 清 (北高9回)

第25回 富山県高校OB対抗ゴルフ大会

期日 平成25年6月2日(日)
場所 高岡カントリー倶楽部

母校の名誉をかけ、熱戦が繰り広げられ、我校は参加28校中、17位となりました。

〈出場者〉

館 良成 (伏高32回)
澤 武 博 (伏高26回)
廣野 辰之 (伏高23回)
増井 修 (伏高22回)
柳澤 昌文 (伏高25回)
城口 賢 (伏高30回)
桶谷 実行 (伏高20回)
戸澤 秀行 (伏高39回)

三北 回 卒 高 代 表 山 下 和 夫	三北 回 卒 高 代 表 富山大学名誉教授 吉 原 節 夫	八北 回 卒 高 代 表 松 長 一 雄	九北 回 卒 高 代 表 布 野 彰 一	十伏 回 卒 高 代 表 戸 澤 克 行	十伏 回 卒 高 代 表 牧 野 貞 夫	十伏 回 卒 高 代 表 上 野 宏 芳	十五 回 卒 高 代 表 中 山 勝 儀	十五 回 卒 高 代 表 山 下 利 一	十六 回 卒 高 代 表 牧 亨	十七 回 卒 高 代 表 中 島 貞 之	十八 回 卒 高 代 表 山 口 正 志
----------------------------	--	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------------	----------------------------	----------------------------

同窓生寄稿欄

「航空自衛隊に入隊して」三箇沙織 (伏高58回卒)

私は伏木高校を卒業して、すぐ航空自衛隊に入隊しました。自衛隊には陸・海・空とある中で、なぜ航空自衛隊に入ったかという理由は単純で、飛行機に乗れてカッコいい!と思ったからです。それほど単純な理由で入隊するくらいだったので航空自衛隊は何をしてどんな仕事を自分ができるのかよくわかっていませんでした。

入隊してすぐ、自衛官の基礎を身に付けるため、自衛隊の輸送機で搬送され山口県防府市にある基地で約3ヵ月間の教育を受けに行き、全国各地から来た約200人近くの女性達の中で、12人1班のグループで団体生活をするようになりました。

朝6時起床、夜22時就寝。その間、体力錬成や教練と呼ばれる「気をつけや右向け右」などの訓練。自衛官としての知識の勉強、剣道、銃の扱い方等の教育を受けました。銃を初めて持った時の緊張感や重さは今でも忘れられません。

この教育期間中、周りの友人等が学生生活を楽しんでいる中、毎日規則正しい生活を送り、柵の中に閉じ込められた生活は本当に辛く苦しいものでした。しかし、その生活を乗り越えられたのも共に苦楽を味わった同期がいたからです。

教育を終えた後、職種を決められ、全国各地の基地に配属されました。職種は、航空機整備や車両整備、消防、給養に人事、会計、厚生など様々な職種があり、その中で私は「調達職」という、広報の職種になりました。調達とは主に航空自衛隊に必要な物品等を民間の業者から買い入れる、「営業」のような仕事をします。各初任地に配置されてから

は自衛官としてや社会人としての心構えや、対応の仕方、仕事のいろはなど様々なことを教わりました。

教育が終わった後でも即応力を維持するために、先輩や同期、後輩との共同生活をしなければなりません。仕事だけでなく、生活面でも修練の場です。共同生活というのは一人になれる所がほとんどありません。しかし、毎日一緒に生活することによって、相手のことを知る機会が増え自衛隊に必要な団結力を養うことができます。

このような自衛隊生活に順応出来たのも、学生時代に所属していたバスケットボール部で協調性、忍耐力を養い、生徒会で培った行動力の賜物だと思います。

働き始めて早8年。その間に、昇任もして自衛官としてはようやく認めてもらえるくらいになりました。

定年まではあと30年弱。今まで以上に仕事も私生活も充実させ、国民からも認めてもらえるような自衛官になれるよう日々努力していきたいと思えます。

最後ではありますが、伏木高校の益々のご発展を祈念申し上げます。



「挑戦することの大切さ」山田梨染 (伏高61回卒)



私が伏木高校で中国語に出会ってから早7年の月日が経ちました。中国語の授業、中国人のホームステイ受け入れ、高校2年生の時に初めて中国へ行ったこと、今でも懐かしく覚えています。初めて中国人と交流したのが高校2年生の夏にホームステイの受け入れをした時でした。受け入れをする前に抱いていたのが、イメージで創り上げた「わがまま」な中国人像でした。しかし実際出会ったのは言葉が通じなくても一生懸命会話をしようとしてくれる、真面目で親切な方でした。この時に感じたことは「先入観で物事を決めつけず、自分が実際に見聞きしたことを大切にすること」でした。

その後もっと中国について学びたいと思い、中国語学科がある神田外国語大学へ進学しました。入学後1年半は授業で遅れをとらないよう大学受験以上に必死に勉強しました。そして大学2年の夏から1年間中国留学を経験しました。初めは外に出るのも億劫でしたが、徐々に中国人の友達ができ、2ヵ月もすればなんとなく言葉が通じるようになりました。いつの間にか中国の生活にも慣れ、並ばないこと、食べ物が腐っていること、食堂の机を猫が走っていることも普通に感じるようになりました。その一方で中国にも美しい自然や昔から変わらない伝統があることを知り、いい所も悪い所も含めてますます中国のとりこになりました。

興味を持ったらとりあえず挑戦してみる。今の私のモットーは伏木高校で得た経験から来ています。現在は新入社員として高岡にある会社で働いていて、中国語を活かした業務に就けるよう日々勉強を続けています。後輩に一言添えるならば、悩むくらいなら挑戦してみる。これまでの挑戦で後悔したことは一つもありません。素晴らしい学習環境の中でやりたいことにどんどん挑戦していただきたい。

興味を持ったらとりあえず挑戦してみる。今の私のモットーは伏木高校で得た経験から来ています。現在は新入社員として高岡にある会社で働いていて、中国語を活かした業務に就けるよう日々勉強を続けています。後輩に一言添えるならば、悩むくらいなら挑戦してみる。これまでの挑戦で後悔したことは一つもありません。素晴らしい学習環境の中でやりたいことにどんどん挑戦していただきたい。

伏高 二十六回卒 (有)昭和運輸 代表取締役 小泉哲二	伏高 二十六回卒 氷見伏木信用金庫 伏木支店 支店長 澤武博	伏高 二十七回卒 井上動物病院 院長 井上人士也	新築きつとぎと市場 伏高 二十七回卒 浜焼き浜風 松長聡	伏高 二十七回卒 島田工業(株) 代表取締役 島田博司	伏高 三十一回卒 松島工業(株) 代表取締役専務 松嶋浩二	伏高 三十七回卒 スミ工業企画 代表 条谷正利	伏高 四十回卒 宮越工業(株) 代表取締役社長 宮越一郎
--	---	---	---	--	--	--	---



～平成24年度 進路状況～

進路指導部長 高澤 真穂美

国際交流科の第6期生の進路状況については、国公立大3名、私立大49名、私立短大22名、専門学校50名、文科省管轄外3名、就職8名となっています。

国公立大学合格者は1期生9名、2期生4名、3期生4名、4期生11名、5期生5名。私立大学合格者は昨年の48名とほぼ同じ。進路先地域別動向については、大学短大進学者58名のうち県内進学者が20名(34%)、石川県17名(29%)、関東方面9名、中部地区7名、関西方面4名となっています。また、専門学校進学者の69%(昨年75%)が県内となっており、地元志向が強くなっています。

就職については、少し上向いてはいるものの依然として厳しいものがあります。

今年度の大学入試センター試験志願者は53名(昨年66名)が出願しており、今後の成果に期待をしているところです。

同窓会の皆さまには、本校生徒の進路実現のため一層のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

平成24年度 大学等進路状況 (延べ数)

進路先	合格数	学校名・企業名等
国公立大学	3	金沢2・富山
私立大学	49	拓殖・二松学舎・東京農業・流通経済・日本・日本福祉・名古屋学院・名古屋経済・京都外国語・京都文教・阪南・富山国際・高岡法科・金城・金沢学院・金沢星稜・金沢工業 など
短期大学	22	富山・富山福祉・金城・大月・愛知工科大・愛知文教 など
専門学校	50	富山県立保育・高岡市立看護・高岡市医師会看護・厚生連高岡看護・富山赤十字看護・富山病院付属看護・富山医療福祉・富山市外国語・富山理容美容・石川理容美容 など
文科省管轄外	3	北陸職業能力開発大学校・千葉職業能力開発短期大学校
就職	8	三芝硝材(株)・三鐵工業(株)・速水発条(株)・(株)高岡ケージ工業・(株)エムディーシー・日本海工業(株)・アルコ工業(株)・金原開発(株)

部活動報告

Fushiki High School

◇◇◇ 平成25年度 部活動の記録 ◇◇◇ (平成25年3月～11月)

〈野球部〉

第66回秋季富山県高等学校野球大会 ベスト8

〈卓球部〉

第8回高岡市民体育大会 卓球競技

少年男子 優勝 藪下 将人(2年)
少年男子 第3位 沼崎 美夢(2年)

〈吹奏楽部〉

第40回富山県吹奏楽コンクール

高等学校B部門 銀賞 伏木 高校

〈体操部〉

富山県高等学校春季大会 (体操競技)

男子個人総合 第2位 原 佑樹(2年)

富山県高等学校新人大会 体操競技

男子個人総合 第2位 原 佑樹(2年)

男子平行棒 第1位 原 佑樹(2年)

男子鉄棒 第1位 原 佑樹(2年)

〈さわやか運動スローガン〉

努力賞 努力賞 吉野 悠生(3年)

〈インターアクトクラブ表彰〉

石浦 舞(3年)

〈書道部〉

第12回岐阜女子大学 全国書道展 特賞 石黒 菜夕(3年)
特賞 高谷 知美(2年)
特賞 宮田 真帆(1年)
特賞 五十田航大(1年)
特賞 横山 優介(1年)

〈第36回全国高等学校総合文化祭〉

吟詠剣詩舞部門 文化連盟賞 門島 涼菜(3年)
日本音楽部門 文化連盟賞 琴 部

〈第62回学生ユネスコ弁論大会〉

森本賞 鈴木 馨元(2年)

〈英語プレゼンテーションコンテスト〉

暗唱部門 奨励賞 藤崎 磨美(1年)

〈第7回富山県ロシア語スピーチコンテスト〉

スピーチ部門 第1位 渡辺ハルバラ(3年)

INFORMATION

- ①寄稿の件 本会報に掲載する原稿を募集致します。(学生時代の記憶に残る体験、経験談、思い出話等)皆様のご協力を頂き、より充実した紙面を目指していきたいと思っております。なお、原稿は1,000字以内でお願いします。
- ②会報広告の件 会報広告を募ります。皆様方のご協力をお願いします。
- ③如意ヶ丘グリーン会参加者募集 毎年4月第2土曜日
- ④学校のホームページと同窓会のメールアドレスです。ご利用下さい。
ホームページ <http://www.tym.ed.jp/sc354/> メールアドレス dousoukai@fushiki-h.tym.ed.jp
- ⑤来年度の定期総会を平成26年7月12日(出)に予定しています。
- ⑥同窓会の総会等が伏木高校のHP上にてアップしています。是非ご覧下さい。

受付窓口 富山県立伏木高等学校 事務局 TEL0766-44-1514 FAX0766-44-1707

編集後記

- ・本年度は、夏の全国高文祭長崎大会に「琴部」が参加。県秋季野球大会ベスト8に入る等、生徒諸君も頑張った一年でした。
- ・如意ヶ丘同窓会も、韓国、ロシア学生の受け入れ事業に、地域の子供さん(伏木児童館等)の出演協力を得て、成功裡に終わりました。
- ・ご寄稿頂いた方々に感謝申し上げます。同期会やクラス会を開催されたら、事務局までご一報宜しくお願い致します。

発行責任者 山下 利一